

研究協力者及びご関係の皆様へ

2021年5月1日

総合医療教育研修センター

現在、総合医療教育研修センターでは、「医療情報過多時代に求められる実践的 Evidence based medicine(EBM)能力を有する医療者養成のための医学生、初期臨床研修医教育プログラム開発とその効果検証」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では医学生、臨床研修医、専攻医、指導医の EBM 教育に関する情報などを利用して頂きます。これらの情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「医療情報過多時代に求められる実践的 Evidence based medicine(EBM)能力を有する医療者養成のための医学生、初期臨床研修医教育プログラム開発とその効果検証」

2. 研究の意義・目的

本研究の目的は EBM 教育における現状の医学生、研修医、指導医、教員のニーズや準備状況の解明し、それをもとにした様々な教育手法を併用した学習者の準備状況に応じた段階的、持続的 EBM 教育プログラムの開発とその効果検証することです。

EBM 教育において医学生、研修医のニーズや準備状況、さらに指導医、教員の EBM に関する現状は明らかではない点も多くあるため、現状を把握することでより学習者への適切な EBM 教育プログラム開発、教員への適切な Faculty Development 開発につながります。

また、医学生から初期臨床研修医という準備状況が異なる学習者に対し、その準備段階に応じた EBM 教育を連続して施すことにより、より効果的に EBM 教育を行える教育プログラムを開発し、その効果を検証も行っていきます。この結果として学習者の準備状況に合わせて、最適な EBM 教育を行える教育プログラムをパッケージ化し、公表することで教育環境が異なる各地の医学部や研修病院でも実施できるようになり、長期的な日本の医学部、初期臨床研修における EBM 教育の向上につながり、日本における最新の信頼性の高い情報に即した適正な医療の実施や医療費の適正化に貢献することが期待されます。

3. 研究の方法

本研究では、あなたを含む研究協力者に対し、質問紙（電子媒体を含む）を用いた量的

調査や聞き取り・観察を通じた質的調査を実施します。調査では、研究組織に所属する研究者が実施した教育活動に対する評価、あなたを含む研究協力者の行動・考え方について尋ね、その回答をデータとして収集し、分析します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科研究室、千葉大学医学部附属病院呼吸器内科の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 外部への情報の提供

本研究で得られた個人情報について外部への情報の提供は予定していない。

6. 研究組織

- (1) 千葉大学医学部 医学教育研究室
教授 伊藤 彰一
- (2) 千葉大学医学部附属病院 総合医療教育研修センター
特任助教 笠井 大
- (3) 千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科
医師 齋藤 合

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター, 呼吸器内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院総合医療教育研修センター

医師 笠井 大

043(222)7171 内線 71014

研究代表機関 : 千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター

研究代表者 : 笠井 大